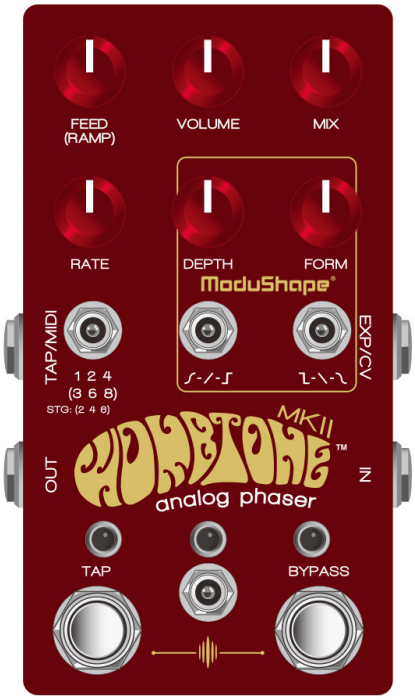
CHASEBLISS
AUDIO



WOMBTONE MKII

取扱説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

胎内回帰体験。至高のアナログフェイザーペダル。

「人間は無意識の領域で胎児の時代を記憶している」という説がありますが、子宮(Womb）で響いていたサウンドはもしかしたらこのようなものだったかもしれません。Wombtone mkII はフルアナログ回路で構成されたフェイザーペダルです。70 年代の滑らかでメロウなビンテージサウンドから、現代の奇妙でサイケデリックなトーンまで全てをカバー。mkII アップグレードではフルドライからピュアフェイズビブラートへ無段階に調整が可能な mix コントロールに加え、フェイザーのステージ数を 2，4，6 から選択して僅かにフェイズさせる設定から瑞々しく滴るようなサウンドなど、幅広く設定ができるようになりました。全てのノブとスイッチは小さなデジタルブレインに接続されていますが、ギターのシグナルはデジタル処理されることなく、100%アナログのまま出力されます。デジタルの力を借りてアナログ回路をコントロールすることで、いまだかつて無いトーンと機能を実現した至高のアナログフェイザーペダルです。

FEED(RAMP)

シンプルに言えば、これは魔法のノブです。ramp 機能にどの dip スイッチもアサインされていないとき、このノブはレゾナンスとインテンシティを増加させるフィードバックの調整ノブとして機能します。フェイザーエフェクトの奥行きや濃淡を調整するようなイメージです。このコントロールは、mix で調整するドライシグナルには影響しません。右にまわしていくと強烈で滴るようなフェイジング、左に回していくとエフェクト量を減らし僅かにフェイズさせる設定になります。選択してるステージ数の設定によりノブの変化も大きく変わります。

ramp 機能を使うと、デジタルコントロールにより、他のすべてのパラメーター（volume, mix, rate, depth, form)を個別に、または自由に組み合わせてこのノブに割り当てて操作をすることが出来ます。モジュレートやランプ・アンド・ホールド（rise, fall モード）を後ろにある dip スイッチで設定することで、パラメーターが変わる幅や変わる方向を決めることができます。その場合、このノブは割り当てたパラメーターを可変させるタイム（ramp タイム）を調整します。例えば、volume ノブをモジュレートさせれば（bounce を割り当てれば）トレモロエフェクトを創り出すことも可能なのです！

VOLUME

エフェクトの音量をセットします。Wombtone の内部には昇圧回路が組み込まれており、ナイスなブーストと高いヘッドルームを実現しています。もちろん、ramp ノブやエクスプレッションペダルでこのノブをコントロールすることも可能です。エクスプレッションペダルを使えばボリュームペダルのように Wombtone を使用できます。

MIX

100%ウェットのフェイズビブラートから 100%ドライシグナルまで無段階にセットできるミックスコントロールです。中間の位置に設定すると、クラシックなフェイズコーラスサウンドになります。ミックスの調整はほとんどのフェイザーペダルには搭載されていませんが、とても音楽的で有効なコントロールです。

RATE

フェイズエフェクトのレートを設定します。mkII では極端に遅いセッティングも可能です。タップテンポスイッチでのテンポ入力は、このノブの設定を上書きします。

1/2/4 (3/6/8) STG:(2/4/6)トグルスイッチ

ペダル背面の Stages dip スイッチがオンになっているとき、このスイッチはフェイザーのステージ数を 2/4/6 から選択するスイッチになります。自然なトーンから強烈なセッティングまで幅広く設定可能です。フェイザーのキャラクターを大きく変えるスイッチです。

dip スイッチがオフのときはタップテンポのサブディビジョンを設定するスイッチになります。背面の dip スイッチで 1 倍-2 倍-4 倍か 3 倍-6 倍-8 倍のディビジョンを選択できます。tap control の dip スイッチ

の設定によって、rate か ramping 機能いずれかのサブディビジョンを設定するか決定します。ramping 機能で使用するときは、ディビジョンは 2 倍の長さになります。

DEPTH

フェイザーのレンジを調整します。右に回していくとワイドな周波数スペクトラムになります。

FORM

モジュレーションのセンターポイントを調整します。左に回すと波形の昇りが速く、下りが遅い設定になります。右に回すと波形の昇りが遅く、下りが速い設定です。12 時方向で対称な波形になります。

波形セレクトトグルスイッチ（左）

モジュレーションのサイクル前半の波形を切り替えます。左で正弦波、中央で三角波、右で矩形波です。

波形セレクトトグルスイッチ（右）

モジュレーションのサイクル後半の波形を切り替えます。左で矩形波、中央で三角波、右で正弦波です。depth, sway, そしてこの波形セレクトスイッチから構成される ModuShape エンジンにより、かつて無いほど自由度の高いモジュレーションコントロールを実現しています。

BYPASS フットスイッチ

エフェクトのオンオフを切り替えます。ペダル背面の dip スイッチによりモーメンタリーバイパスにすることも出来ます。Gravitas はリレーを用いたトゥルーバイパスで、スイッチングに圧倒的な静音性を実現しています。

TAP フットスイッチ

タップテンポの設定に使用します。タップテンポは最後の入力された 2 回の踏み込みに常に追従します。

下のトグルスイッチ（プリセットスイッチ）

一番下にあるスイッチはプリセットの呼び出しに使用します。右側のポジションでプリセット#1、左側でプリセット#2 を呼び出します。真ん中のポジションは常に現在のノブ、トグルスイッチ、dip スイッチの設定を呼び出します。トグルスイッチ右側のポジションに現在の設定をプリセットとして保存するには、まず右側のフットスイッチ（bypass)を 3 秒長押しし、そのまま bypass を押しながら tap/hold のスイッチも同時に 3 秒押します。LED が点滅し、設定がプリセットに保存されます。トグルスイッチ左側のポジションにプリセットを保存したい場合は、左のフットスイッチの長押しから始めて同じ動作をします。プリセットを呼び出している状態でノブを動かしたりして設定を変更すると、プリセットスイッチ上の LED が暗くなります。これは元々のプリセット設定から何かが変更になったことを表します。この変更をプリセットに反映したい場合は、再度設定をプリセットに保存する必要があります。

IN / OUT

1/4”モノインプットジャックです。

EXP / CV

エクスプレッションペダルを接続する 1/4" TRS ジャックです。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは、背面の dip スイッチで選択できます。tip はワイパーに接続して下さい。弊社では Roland EV-5 にて動作確認をしています。スタンダートなエクスプレッションペダルがご利用いただけますが、ご不明点があればお問い合わせ下さい。

0-5 の CV（コントロールボルテージ）を受けることも出来ます。その場合リングがフローティングされるようにして下さい。

TAP / MIDI

外部タップテンポスイッチを繋ぐことができます。また、タップテンポの信号を出力することもできます。

Chase Bliss MIDIBOX, または Empress Effects MIDIBOX を使用すると、MIDI クロックでペダルをコントロールすることが出来ます。MIDI については巻末の項目を御覧ください。

電源について

消費電力 20mA、2.1mm 9VDC センターマイナスのパワーサプライ、または 9V 電池で駆動します。

EXP / CV コントロールと dip スイッチ

「on, off」側にある Volume, Mix, Rate, Depth, Form の dip スイッチで、エクスプレッションペダル/CV でコントロールするパラメーターを割り当てができます。一つだけでも、複数同時でも操作できます。ペダルはエクスプレッションペダルまたは CV かを自動的に識別します。

エクスプレッションペダル/CV を使った波形のダイレクトコントロール

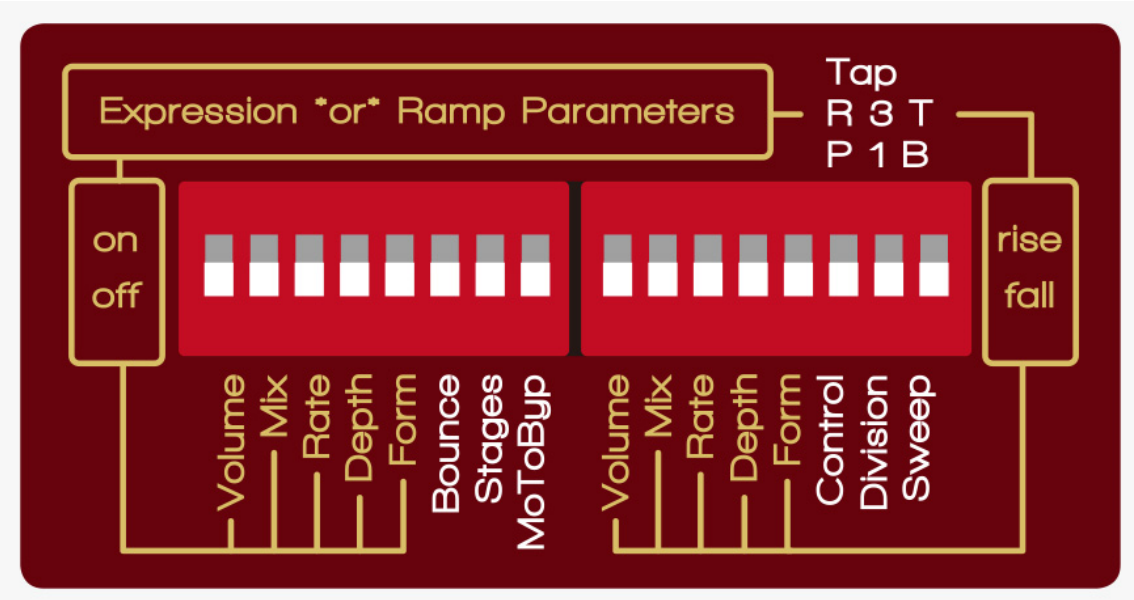
EXP/CV ジャックに何らかを繋いで、かつ dip スイッチで何も割り当てていない場合、波形をエクスプレッションペダルまたは CV でコントロールすることが出来ます。Wombtone の場合、フェイジングの効果を加えたワウのようなエフェクトになります。ちょうど”Whammy"のアナログバージョンのようなトーンになります。コントロールする幅は depth ノブで決定します。最小から最大まで全ての幅をコントロールしたい場合は、depth ノブを右へ回しきります。

EXP / CV のレンジの調整

エクスプレッションペダルと CV のコントロールレンジ（パラメーターの設定可能な幅）は、ノブのポジションと後ろの sweep の dip スイッチで決定します。例えばエクスプレッションペダルに Volume コントロールを割り当てて、ボリュームゼロからユニティゲインまでをペダルでコントロールしたいとき、まずは Sweep を B（Bottom）ポジションにセットします。Volume ノブをユニティゲインに設定すると、エクスプレッションペダルで Volume ノブの左回し切りからユニティゲインまでの値をコントロールできるようになります。調整するボリューム幅を更に広げたい場合は、Volume ノブをもう少しだけ上げます。様々なパラメーターを同時に可変させることが出来ますが、それぞれのノブで可変幅は微調整できます。

dip スイッチについて

dip スイッチの設定は最初は難しく複雑に感じると思います。初めてペダルを使用するときは、まずは dip スイッチのことは忘れてプレイしてみて下さい。ベーシックな機能を把握したあと、その後更に必要な機能に合わせて dip スイッチを設定すると、うまくいくと思います。



※プリセットを保存すると、dip スイッチの設定も全てプリセットに保存されます。

※ramp の動き（各パラメーターの動き）は、バイパスごとにリセットされます。エフェクトを ON にしたあと、各パラメーターは dip スイッチの設定に関わらずノブの位置に設定されます。

・**「on off」側の Volume, Mix, Rate, Depth, Form :** RAMP ノブ、エクスプレッションペダル、CV にパラメーターのコントロールを割り当てます。

・**「rise, fall」側の Volume, Mix, Rate, Depth, Form :** パラメーターを RAMP ノブに割り当ててコントロールしたとき、ノブを右に回してパラメーターが上がる（rise）または下がる（fall）を決定します。エクスプレッションペダルを接続しているときは、エクスプレッションペダルでパラメーターを操作するときにペダルの踏み込みでノブが右回しになる=rise モード、ペダルの踏み込みでノブが左回しになる=fall モードを設定します。

・**Bounce :** このスイッチを on にしてかつエクスプレッションペダルが接続されていないとき、各パラメーターは自動的に可変します。（モジュレートします）

・**Stages :** ペダルのサブディビジョン切り替えスイッチを、フェイザーのステージ数変更のスイッチとして機能させます。2, 4, 6 のステージを選択できます。ステージ 2 は mkII で新しく搭載されたモードで、より淡く僅かなフェイジングに設定が出来ます。

・**MoToByp :** モーメンタリーバイパスを有効にします。BYPASS フットスイッチを押している間だけエフェクトをオンにします。

・**Tap Control :** “R”の位置では Ramp のレートを、“P”の位置ではパラメーター（RPM）をタップテンポで設定します。

P の位置では、タップテンポを入力することで RPM のレートを変更します。

R の位置では RAMP に割り当てたパラメーターをモジュレートさせるスピードをタップテンポで設定します。RAMP ノブに割り当てたパラメーターをモジュレートさせたいときは、Bouce スイッチがオンになっている必要があります。

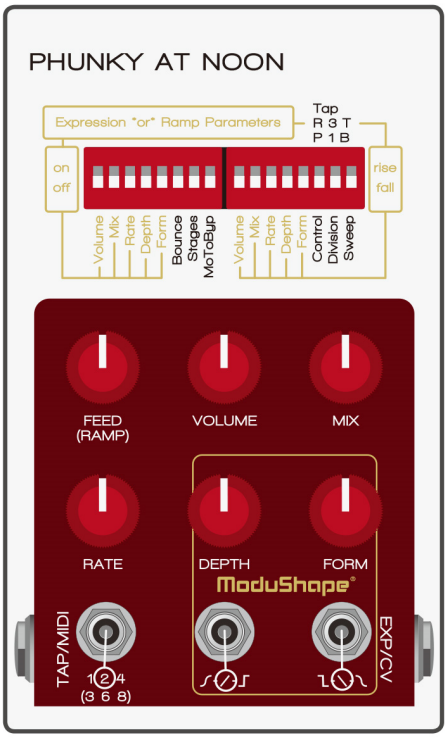
・**Division :** ”3”の位置では、タップテンポで入力するテンポのサブディビジョンを 3 倍、6 倍、8 倍から選択できるようになります。

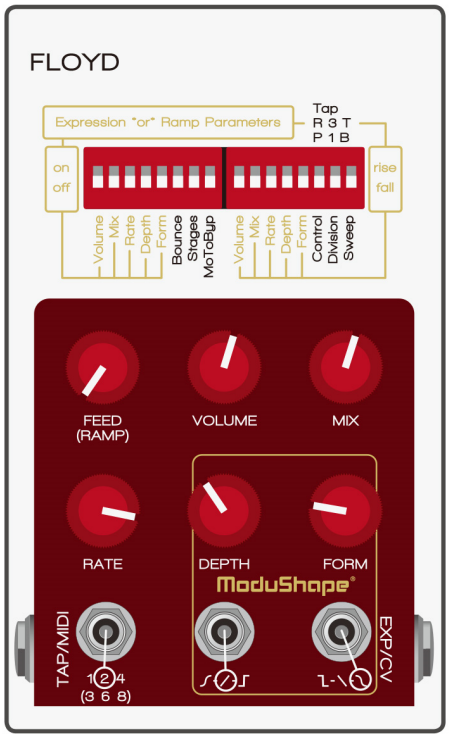
・**Sweep :** ・Sweep : RAMP ノブとエクスプレッションペダルの可変幅を設定するのに使います。

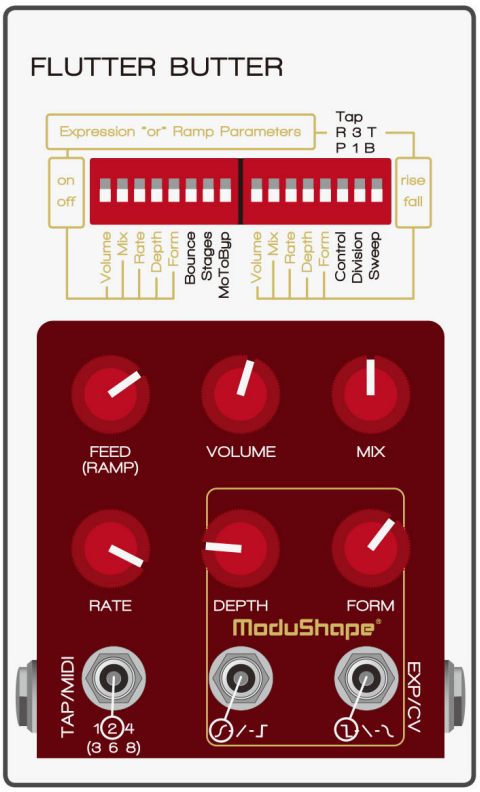
T（Top）ではエクスプレッションペダルの可変幅が現在のノブのポジションから最大値までの間で設定されます。B（Bottom）では可変幅が現在のノブのポジションから最小値の間で設定されます。

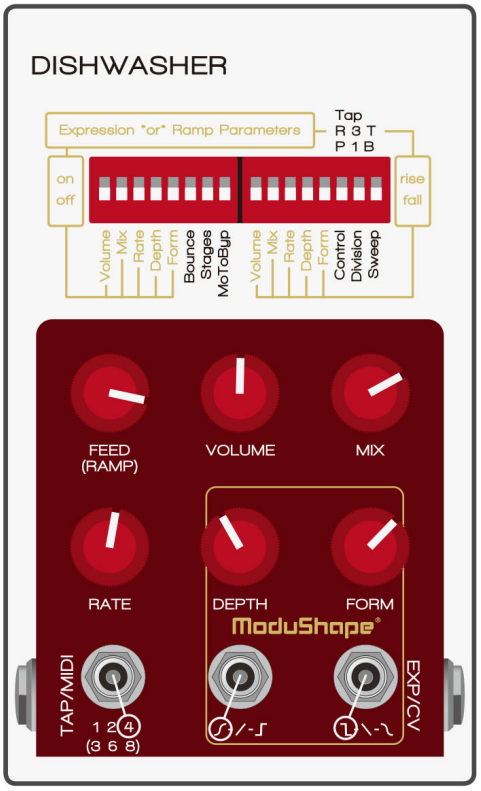
サンプル設定

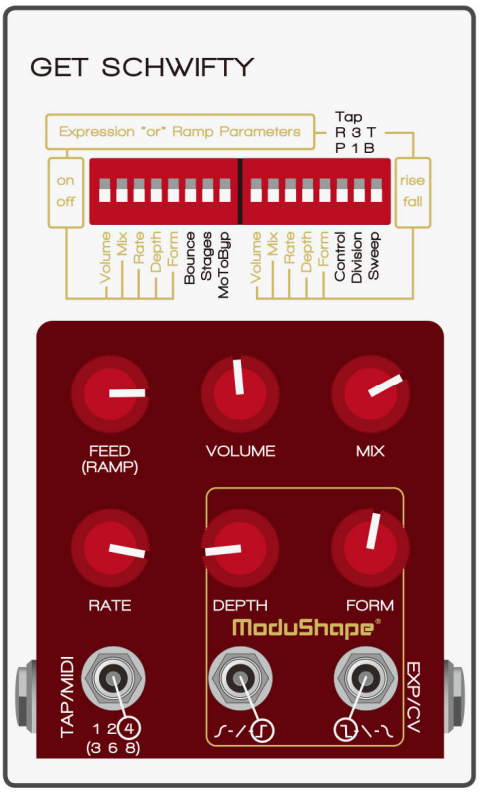
これらのサンプル設定の実際のサウンドは弊社ホームページ、または
soundcloud.com/chaseblissaudio で試聴することができます。

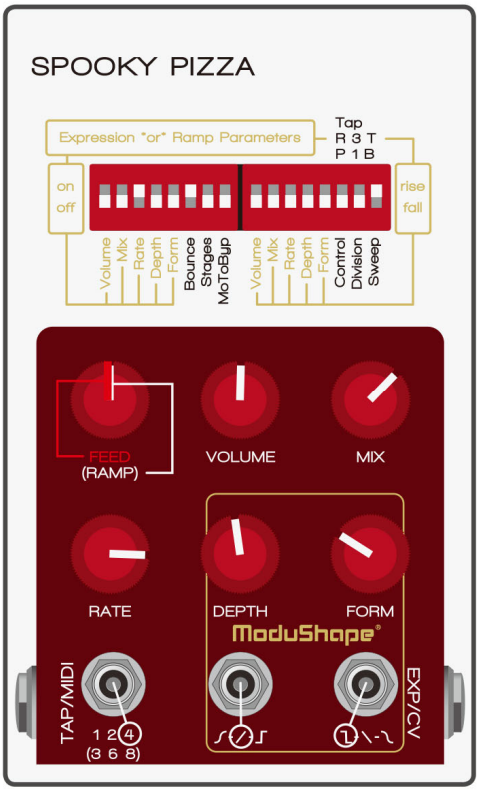




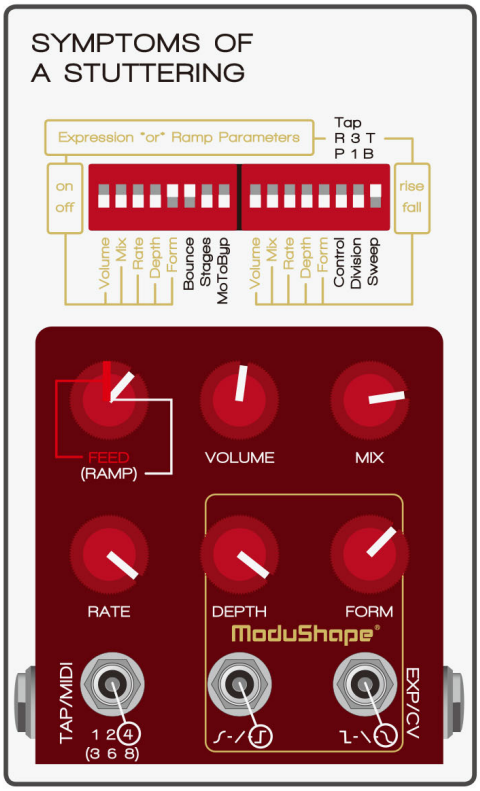

FLUTTER BUTTER
Expression "or" Ramp Parameters
Tap
R 3 T
P 1 B
on
off
rise
fall
Volume
Mix
Rate
Depth
Form
Bounce
Stages
MoToByp
Volume
Mix
Rate
Depth
Form
Control
Division
Sweep
FEED
(RAMP)
VOLUME
MIX
RATE
DEPTH
FORM
ModuShape
TAP/MIDI
1 2 4
(3 6 8)
EXP/CV


DISHWASHER
Expression "or" Ramp Parameters
Tap
R 3 T
P 1 B
on
off
rise
fall
Volume
Mix
Rate
Depth
Form
Bounce
Stages
MoToByp
Volume
Mix
Rate
Depth
Form
Control
Division
Sweep
FEED
(RAMP)
VOLUME
MIX
RATE
DEPTH
FORM
ModuShape
TAP/MIDI
1 2 4
(3 6 8)
EXP/CV

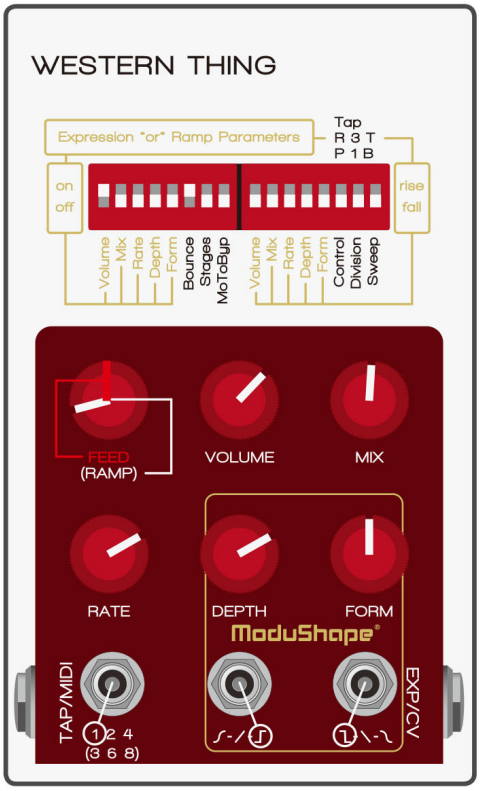

GET SCHWIFTY
Expression "or" Ramp Parameters
Tap
R 3 T
P 1 B
on
off
rise
fall
Volume
Mix
Rate
Depth
Form
Bounce
Stages
MoToByp
Volume
Mix
Rate
Depth
Form
Control
Division
Sweep
FEED
(RAMP)
VOLUME
MIX
RATE
DEPTH
FORM
ModuShape
TAP/MIDI
1 2 4
(3 6 8)
EXP/CV


SPOOKY PIZZA
Expression "or" Ramp Parameters
Tap
R 3 T
P 1 B
on
off
rise
fall
Volume
Mix
Rate
Depth
Form
Bounce
Stages
MoToByp
Volume
Mix
Rate
Depth
Form
Control
Division
Sweep
FEED
(RAMP)
VOLUME
MIX
RATE
DEPTH
FORM
ModuShape
TAP/MIDI
1 2 4
(3 6 8)
EXP/CV

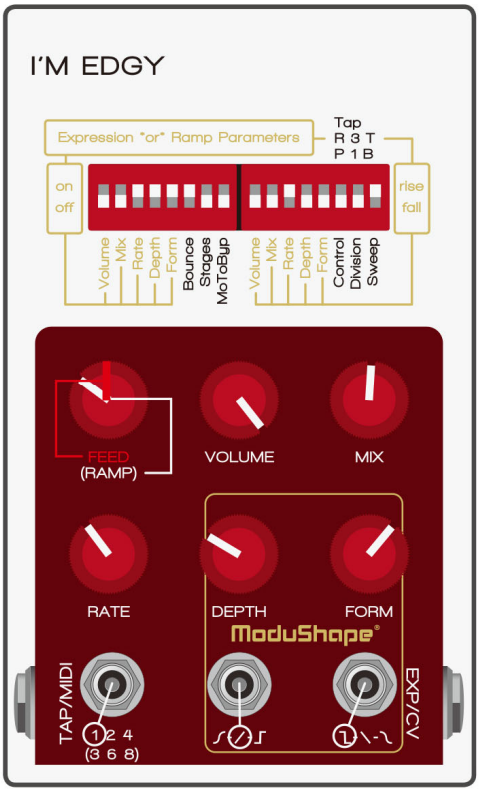
SYMPTOMS OF A STUTTERING



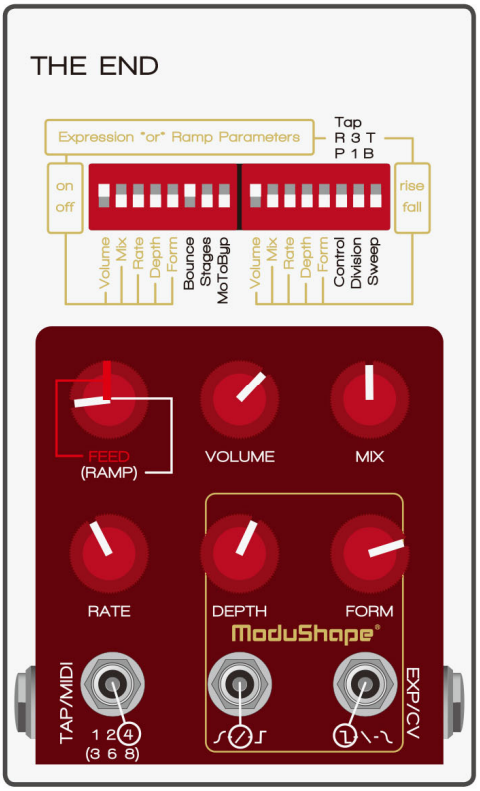
WESTERN THING



I'M EDGY



THE END



MIDI について

Wombtone は全てのパラメーターを MIDI コントロールメッセージで操作することが出来ます。プリセットの呼び出しと保存も MIDI を介して操作できます。

Wombtone で MIDI を使用するには、まず以下に従って下さい。

1. Chase Bliss MIDIBOX を用意し、Wombtone の TAP/MIDI ジャックと MIDIBOX をスタンダードな 1/4"TRS ケーブルで接続します。Chase Bliss 製以外の MIDIBOX を使用する場合、tip とリングを反転させる改造が必要になる場合があります。詳しくは国内代理店までお問い合わせ下さい。

2.　デフォルトでは Wombtone は MIDI チャンネルの 6 に設定されていますが、必要であれば他のチャンネルへ変更できます。変更したい場合、TAP と BYPASS スイッチを長押ししながら電源を入れます。その後設定したい MIDI チャンネルのメッセージを Wombtone に送信します。

MIDI を使ったプリセットの呼び出し

MIDI のプログラムチェンジメッセージを送ることでプリセットを呼び出すことが出来ます。例えば、プログラムチェンジメッセージの 1 はプリセット 1 を呼び出します。プリセットスロットは 122 まで使用できます。スロット 1 と 2 はペダルのプリセットトグルスイッチを使って直接保存ができるプリセットと同じものです。スロット 1 が右、スロット 2 が左です。プログラムチェンジメッセージを 0 で送信すると、ペダルを「ライブモード」で呼び出します。プリセットトグルスイッチが真ん中のときと同じ設定です。

MIDI を使ったプリセットの保存

MIDI を介してプリセットを保存するには、本体の TAP と BYPASS スイッチを同時に押しながらプログラムチェンジメッセージを送信します。例えば、両方のスイッチを押しながらプログラムチェンジメッセージの 45 を送信すると、現在の設定がプリセットスロットの 45 に保存されます。本体のトグルスイッチで呼び出せるプリセットは 1 と 2 のみですが、MIDI を使うと 122 までのスロットを使用できます。

MIDI クロック（MIDI ビートクロック）

Wombtone は MIDI クロックメッセージを受け取ることが出来ます。MIDI クロックは 4 分音符を 24 までの MIDI メッセージに細分化します。サブディビジョンを選択するトグルスイッチで、ビブラートの 1 サイクルに割り当てる音符を設定します。全音符、4 分音符、8 分音符、付点 8 分音符、3 連符、6 連符、16 分音符のディビジョンを選択できます。

コントロールチェンジメッセージ

Wombtone は MIDI コントロールチェンジメッセージで操作をすることが出来ます。

<table>
<tr><th>パラメーター</th><th>CC#</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>Feed</td><td>14</td><td rowspan="7">0 を送信すると、ノブを左に回しきるのと同じになり、127 を送信すると完全に右に回しきりになります。
中間の値は全てノブの中間の位置に対応します。</td></tr>
<tr><td>Volume</td><td>15</td></tr>
<tr><td>Mix</td><td>16</td></tr>
<tr><td>Rate</td><td>17</td></tr>
<tr><td>Depth</td><td>18</td></tr>
<tr><td>Form</td><td>19</td></tr>
<tr><td>Ramp</td><td>20</td></tr>
<tr><td>Midi タップディビジョン</td><td>21</td><td>値が 0 の時に全音符、1 で 2 分音符、2 で付点 8 分、3 で 4 分音符、4 で 8 分音符、5 で 16 分音符となります。</td></tr>
<tr><td>MIDI Clock Ignore</td><td>51</td><td>0 を送信すると MIDI クロック信号を無視します。127 に設定すると MIDI クロック信号が有効になります。デフォルトでは MIDI クロック信号は有効です。</td></tr>
<tr><td>Tap スイッチ</td><td>93</td><td>何らかの値を送信すると、タップスイッチが踏まれたと認識します。MIDI を使ってタップテンポを設定するときに使用します。</td></tr>
</table>

エクスプレッション	100	0 を送信するとエクスプレッション・ペダルが完全にオフと認識します。127 でペダルを最大まで踏み込んだ状態になります。その間の数値は全てペダルの中間に対応します。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは本体の dip スイッチで設定します。
バイパススイッチ	102	127 を送信すると最後に使っていたチャンネルをオンにします。0 で両方のペダルをバイパスします。 ペダルがオンの状態で 127 を送信すると、現在の ramp を全てリセットします。